

仙台市博物館協議会（令和元年度第1回）会議録

1. 会議の年月日 令和元年5月28日（火）

2. 開会及び閉会の時刻 午後3時から午後4時30分まで

3. 出席委員の氏名（五十音順・敬称略）

尾崎彰宏、小野寺健、菊池勇夫、佐川正敏、佐藤憲子、伊達泰宗、長岡龍作、濱田淑子、森美智子

4. 説明者の職及び氏名

館長＝高橋泰、副館長兼学芸普及室長＝高橋あけみ、庶務係長＝高橋薫、学芸企画室長＝樋口智之、指導主事＝片寄角洋、学芸企画室主任＝佐々木徹、学芸企画室主任・記録＝水野沙織

5. 議題及び報告並びに議事の要旨

(1) 会議録署名委員の選任

会長と伊達泰宗委員とする。

(2) 報告事項

① 平成30年度及び平成31年4月の観覧者数について（庶務係長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料1」のとおり。平成30年度の観覧者数は平成29年度と比較して9%減少した。

〔委員からの意見等〕

博物館では観覧客増加・多様化に伴い観覧券のカード決済の導入は検討しているのか。時代遅れにならないよう早急な対応を望む。

〔事務局からの回答〕

カード決済の導入は実行委員会形式の特別展では導入の可能性がある。常設展観覧券については仙台市の他の文化施設と合わせて進めていく。

② 特別展「いつだって猫展」の中間報告について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料2」のとおり。本展の客層はアンケートによれば20～40代が多く、また女性が多い。展示会場も若い人が多く見られ、今までとは大きく異なる。また、猫展の講演会は定員に満たないなど座学は人気がないが、参加型のイベント（絵付け・プレイミュージアムなど）は参加が多くみられた。新たな客層を獲得する機会となればと考える。

〔委員からの意見等〕

客層が変わりつつあることは評価すべきであるが、本展のテーマである人間と猫との関

わりなどはどの程度伝わっただろうか。もっと多くの人に講演を聞いて欲しかった。

〔事務局からの回答〕

講演会へのアプローチについては、いつもと違う工夫が必要だったと反省しており、今後の課題としたい。また、今回は「猫好き」を対象に広報しているが、浮世絵ファンや江戸文化が好きな人も対象とした広報にすれば、より大勢の観客を獲得できたのではないか。

### ③ 市史活用推進事業について（副館長兼学芸普及室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料3」のとおり。

〔委員からの意見等〕

パネル展の歴史地震とはどういう意味か。歴史時代に発生した地震という意味ではないのか？

〔事務局からの回答〕

文献に残る記録資料や遺跡発掘調査、近年の自然科学の調査で分かってきた地震のことである。

〔委員からの意見等〕

このような事業報告の際には人数等の数値だけではなく、写真でその開催の様子も紹介して欲しい。パネル内容も見られてよい。

〔事務局からの回答〕

今後は写真を資料に入れるように検討する。

### ④教育普及事業について①平成30年度事業報告②令和元年度事業計画（指導主事報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料4-1」「資料4-2」のとおり。

夏休みサポートプロジェクトについては昨年度より長い期間で開催する。

### ⑤各種機関との連携事業について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料5」のとおり。

〔委員からの意見等〕

門松が2月になっても展示されていたが、節分が過ぎたら撤収すべきではないか。

〔事務局からの回答〕

今年度は休館のため対応できないが、今後期間については検討する。当館の門松はレブリカのため長期間展示が可能である。その分大勢のお客様に見ていただけたのは良かったと思う。

### ⑥その他（副館長兼学芸普及室長）

平成から令和に改元することをうけて伊澤家から大型の寄贈があった。今回は刀剣中心

の 41 件で、今までの寄贈資料を合わせると 389 件となる。夏・秋に公開を予定している。

[その他 委員からの意見等]

常設展示室にある年表パネルがリニューアル以降そのままである。早急に東日本大震災の項目を入れるよう望む。また、国絵図の展示も 400 年前の津波到達ラインと東日本大震災の津波到達ラインと比較できるようにするなど、工夫をすべきではないか。また、床の航空写真も古いものであり、変更すべきではないか。航空写真を踏むような形の展示についても検討いただきたい。

[事務局からの回答]

企画展示室など前回のリニューアルで改修できなかった展示室の照明や展示ケース、クロス交換など大規模改修が予定されているので、これに合わせて総合展示室の年表改修や航空写真の交換、国絵図の展示方法などについても検討し、総合的に取り組んでいく予定である。

[会長からの提案]

大規模改修の内容については、事務局からアンケートの様式をメールなどで送ってもらい、各委員が事前に意見や質問内容を事務局に伝える形にして、今後の協議会で事務局から報告してもらいたいと考える。

[委員]

全員賛成

### (3) 協議事項

①企画展「戦国の伊達氏—植宗から政宗へ」の開催について

[事務局からの報告要旨]

「資料 6」のとおり。河北新報で漫画を連載中の千葉真弓氏にご協力いただき、当時の情景をイメージしたイラストを展開する予定。また、プロローグで堅いイメージのある戦国文書のかたちをわかりやすく展示解説し、和紙に触れる体験展示も行うなど、文字が読めない人たちにも興味を持ってもらえるような導入部分とする。

[委員からの意見等]

観客の多い夏休み期間にこのような企画を開催するのは素晴らしい。これからも全国から仙台に来る人々にアピールを続けて欲しい。導入部分の試みやひとこと見だしなどは、わかりやすく、よいと思う。館蔵品だけでここまでの企画ができるのは素晴らしい。

[委員からの意見等]

図録は作製するのか。

[事務局からの回答]

図録はないが、リーフレットを作製し配布する。

[委員からの意見等]

第 4 章 神仏にすぎると、では八幡神に関する資料は展示しないのか。仙台藩では瑞鳳殿に政宗の彫像が鎮座するなど、廟所に彫像が残るものが各地にあり、興味深い。

[事務局からの回答]

八幡神の資料は展示しないが、伊達家の信仰上欠かせないものであり、ほかの展示資料の解説のくだりで触れる予定である。

[委員からの質問等]

支倉常長の慶長遣欧使節など伊達家が海外に展開しようとした動きなど、グローバリズムの視点からも、今回の展示で紹介してはどうか。

[事務局からの回答]

企画展では5章に3点ほど外国との接点を伝える資料を展示する予定である。企画展開催中はテーマ展示室Ⅱで慶長遣欧使節の展示をしているので、その前史となる説明を加えて関連付けていきたい。

#### (4) その他

##### ①その他

[事務局からの報告] (庶務係長)

次回の協議会の案内について、今回と同じくメールと郵送の両方でお伝えする形で良いか

[委員]

異議無し